

【平成24年3月定例会（第1回）】

開会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

本日は、平成24年3月市川三郷町議会第1回定例会を招集致しましたところ、議員各位におかれましては、全員のご出席を賜り、ここに定例会が開会できますことに、厚くお礼を申し上げます。

また平素町行政の進展にご理解とご協力をいただいておりますことに、併せて感謝を申し上げます。

未曾有の国難というべき東日本大震災から、今週の日曜日、3月11日で1年となります。亡くなられた方、いまだに行方の分からない方は1万9千人以上であります。あらためて、哀悼の意を表すとともに、国を挙げての1日も早い復旧復興を念ずるものであります。

平成24年度当初予算の概要でございますが、一般会計および15の特別会計の予算総額は138億3,353万円、対前年度比マイナス0.17%、2,424万円の減であります。

一般会計は、81億3,800万円、対前年度費マイナス3.1%、2億5,900万円の減であります。主な要因として、公債費で対前年度費マイナス9.09%、1億2,800万円の減などであります。

特別会計は56億9,500万円、対前年度比プラス4.3%、2億3,500万円の増であります。

この主な要因として、国民健康保険の保険給付費7,100万円の増、13億9,600万円。介護保険の保険給付費6,900万円の増、17億500万円。後期高齢者医療連合納付金2,300万円の増、1億9,900万円。簡易水道維持管理費1,200万円の増、施設改良費3,500万円の増。公共下水道事業2,700万円の増などあります。

一般会計の特徴としましては、昨年3月11日発災の東日本大震災を教訓に、防災対策と学校施設の耐震化等であります。

防災対策の充実として、ドクターヘリの離着陸が可能な地域緊急搬送拠点を整備するための設計業務、孤立のおそれのある集落への衛星携帯電話整備事業は継続して実施し、本年度は5地区で実施します。継続事業の自主防災資機材整備費用の助成、耐震性貯水槽整備事業、防災倉庫設置事業等あります。

学校施設の耐震化では、今年度、六郷中学校特別教室棟の改築事業を実施します。これにより、学校施設はすべて耐震化が完了することになります。また、震災時に発生が想定されます、窓ガラスの飛散につきましても、飛散防止フィルムの貼付を計画的に実施します。

子育て支援対策につきましては、東日本大震災での、福島第一原子力発電所事故による、放射性物質の放出を受けて、町内で定期的に放射性物質を測定できる測定器を購入いたします。そのほか、ヒブワクチン、小児肺炎球菌、日本脳炎、子宮頸がんワクチン接種事業、子育て医療費助成事業、ファミリーサポート事業及び学童保育事業など、子育て支援対策を継続実施します。

地域振興対策として、帯那地区にあります町有宅地造成地の2区画に、定住促進住宅を2棟建設し、定住促進を図ります。これにつきましては、応募申込みは9世帯ございまして、子どもさんが3人いらっしゃる世帯2世帯を決定させていただきました。

また、大同地区と、旧鰻沢との境界の、山王地区に計画されております土地区画整理事業（事業認可申請者は3月まで山王土地区画準備委員会、4月からは山王土地区画整理組合となります）での、町道等の用地取得を予定しております。

大同地区公民館建設事業では、今年度は建設予定地の用地取得および下水道管の敷設などであります。

主な継続事業としまして、町道岩間久那土線改良事業、町道宮原一本松線新設改良事業、町道網倉日向線改良事業、町道矢作上野線新設改良事業（これは三珠陸橋でございます）、町道町屋川浦線新設改良事業、市川地区中央部まちづくり事業などあります。

地方債残高（町の借金）ですが、臨時財政対策債を含む地方債残高は、合併直後の平成18年度末で、262億8,700万円でありましたが、平成24年度末では、241億円を見込んでおりますので、平成18年度末対平成24年度末で、21億8,700万円の減となります。6年間で、21億8,700万円減少することとなります。

実質公債費比率（借金依存度）は、平成18年度の18.3%から平成23年度は12.9%、さらに平成24年度は12.0%を見込んでおります。借金が減ることで借金依存度も比例して下がっております。

本日、ご提案申し上げます案件は、専決処分承認2件、契約締結1件、組合規約の変更1件、条例制定1件、条例改正7件、補正予算12件、当初予算18件、町道路認定1件、合わせて43案件であります。

それでは、提案理由の説明を申し上げます。（以下省略）